

郵便はがき



〒四二六-〇〇二五  
藤枝市藤枝四一七  
大慶寺 大場正昭  
FaxTel. 〇五四-六四一-二二九  
〇五四-六四四-六二六  
✉ ohba@enmyozan.org

お会式 万灯まとい行列参加者募集

11月3日のお会式が近づいて来ました。今年も「まとい行列参加者」を募集しています。お申し込みは大慶寺まで。

お会式準備をお手伝い下さい

本堂飾り付け、境内テント張り、福引き会場設営等の作業です。

○期日 10月30日(日)

○時間 9時～昼まで

※昼食用意、昼食後解散。

一食一円アシスト募金協力者(順不同・敬称略)

アシスト募金は、国内外の支援活動に使われます。ご協力をお願い致します。

西郷利英 高野重雄 杉山元一 高橋和子  
佐藤肇 関根薫 西村幸三 小野田滋  
神保昌志

藤枝市の水野シズ子様から法話箋のお葉書代を頂戴致しました。ここに篤くお礼申し上げます。法話箋作りの資とさせていただきます。

別世帯の子供、お孫様等にも法話箋をお届け致します。申し込みは寺まで。

10のこころ

本年の法話箋のテーマは「合掌、感謝」。各号それぞれ様々な視点から述べてきた。今年もあと3ヶ月。まとめが必要だ。そこで今号は人の心について考える。

さて、我々は論理、知識こそ人を動かす根幹だと考えがち。表向きは

そう見えるかも知れないが、そうではなさそう。何故なら、皆が論理、知識を持って動いていけば、確実に世の中は善くなっているはず。となると何が根幹かと考

えると、心を動かすエネルギー。今流で言えばスイッチ。心を揺り動かす力が働いた時、人は自然と積極的、永続的に行動を起こす。しかし、自分で自分の心が分からないのが人間。それでは、仏さまは、何と説いているのであろうか。仏さまは「人には10の心」があると説く。(図参照)

①地獄↓苦しみに縛られた恨みの境涯。  
②餓鬼↓欲望が満たされず苦しむ境涯。



- ③畜生↓利害で理性が働かない境涯。
- ④修羅↓媚び諂い常に他者と争う境涯。
- ⑤人間↓穏やかさを保つ境涯。
- ⑥天上↓欲望を満たした喜びの境涯。
- ⑦聲聞↓仏さまの教えを聞き、若干の悟りを獲得する境涯。
- ⑧縁覚↓事象を縁として、自らの力で若干の悟りを得る境涯。
- ⑨菩薩↓不断の精進に努め、他者をも仏に導く境涯。
- ⑩仏↓悟りを開いた境涯。

人心の定義において、性善説、性悪説にもたないのが仏さまの教え。善と悪を兼ね備えているのが人間と仏さまは説く。様々な縁で人の心は移りゆく。怒り、愚か、貪り、争いの心があるのと同時に、仏の心もあるのだ。

大切なことは、我々の心には仏の心が存在するということ。仏になるだけの種を持つているのだ。そして、自分以外の人の心にも仏の心があるということ。

縁により人の心は変わる。鬼にもなり仏にもなる。

合掌礼